

⑤ レイ・ブラッドベリ 著、中村融 訳

『猫のパジャマ』

(河出書房新社)

日本の政局は猫の目のように変わり、猫の手も借りたい師走に総選挙、猫も杓子も新党結成。「猫」がつく言い回しは日本にたくさんありますが、本書のタイトルである英俗語のthe cat's pajamas(猫のパジャマ)には、さてどんな意味があるのでしょうか？

夜道で拾った仔猫をめぐる男女のラブストーリーに、この一言の意味が利いています。2012年6月に91歳で亡くなったアメリカの小説家レイ・ブラッドベリの初期から晩年までの21篇を収録した短編集です。

933 ||Bra (N.T.)

⑦ 森正人 著

『英国風景の変貌：
恐怖の森から美の風景へ』

(里文出版)

この本は、イギリスの特定の風景を特定の視点から分析するのではなく、複数の事例をとりあげて、それらを異なる論点で考える方法がとられています。取り上げている風景は、単に眼で見て美しいというだけでなく、社会あるいはイギリス人にとって有意であるとして評価され、道徳的な物差しでつねに測定されています。風景は社会の価値観を反映するだけでなく、ある時期にイギリス国民のアイデンティティの源泉と見なされ、「イギリス国民」を作り出す役割も担うことになっていきます。「英国風景」とはどのように発見され、高められていったのか、その歴史と変遷を紹介しています。

233.06 ||Mor (M.T.)



⑥ 高城剛 著

『人口18万の街がなぜ美食世界一になれたのか：
スペイン サン・セバスチャンの奇跡』

(祥伝社)

サン・セバスチャンは京都市の約14分の1しかないバスク地方の小さな街ですが、ミシュランの3つ星レストランが3店、2つ星レストランが2店、1つ星レストランが4店もあります。ヌエバ・コッシーナという新しいジャンルの料理は国内外を問わず多くのお客様を満足させているのです。料理を巡る人々の往来は観光産業とも密接につながっています。古き良き観光資源の豊富な京都にいる私達に新たな可能性を発見させてくれる一冊です。巻末にレストラン情報があります。

383.836 ||Tak (Y.H.)

⑧ 後藤明 著

『ムハンマド時代のアラブ社会』

(山川出版社)

イスラム教の開祖ムハンマドの時代、アラブ社会は国家のない父系の部族社会でした。

組織としてのまとまりを欠いたアラビアで、ムハンマドは多くの戦いに勝利し、アラビアの覇者として国家らしきものをつくり上げますが、彼の死後1日にして崩壊してしまいます。しかしながら、イスラム教はアラビア全土で広く受け入れられるようになり、現在のアラブ社会形成につながっていったのです。

力による支配は虚像にすぎず、精神の共感がなければ人間の真の連帯はないのだと感じさせられます。

227 ||Got (A.U.)